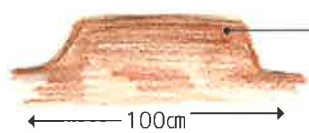


# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ニンジン

## 畑の準備

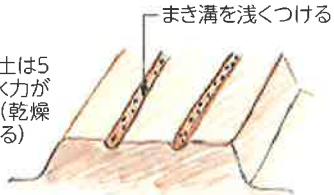


畑は深く耕す。堆肥は前作に多量に施してあれば、施さなくてよい

荒起こし  
苦土石灰100~120g/m<sup>2</sup>  
堆肥2~3kg/m<sup>2</sup>  
(よく腐っているもの)  
元肥  
化成肥料100g/m<sup>2</sup>  
(N・P・K=8・8・8)

## 種まき

種はまき溝に条まきする。覆土は5mm程度。ニンジンの種は吸水力が弱いので、乾燥に注意する(乾燥が続くようなら敷きわらをする)



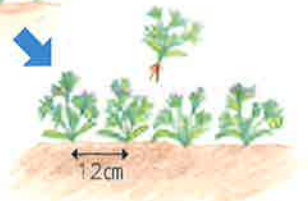
まき溝を浅くつける

## 間引き

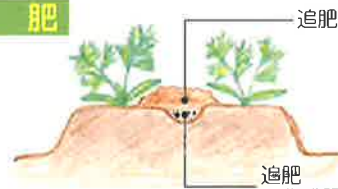


本葉2枚ころに、込みすぎたところを間引く。ニンジンのばあい、雑草が早く伸びるので、除草を念入りにする

本葉5、6枚ころに2回目の間引きをする。肥切れと乾燥に注意する

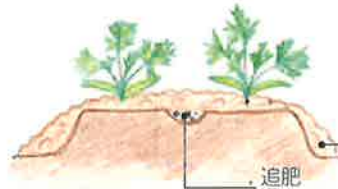


## 追肥



追肥後、覆土しておく

追肥  
化成肥料(N・P・K=8・8・8)  
70~80g/m<sup>2</sup>  
1回目の間引きの後、条間に追肥し、覆土しておく

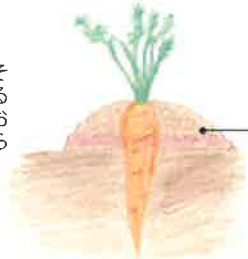


畝の肩の土を株元へ寄せる

追肥  
1回目と同量  
2回目の間引きの後、追肥と同時に土寄せする

## 土寄せ・収穫

根が露出するとその部分が緑化するので、土寄せしておく。根が肥大したら収穫する



土寄せした土

ニンジンにはカロテンが豊富でビタミンAも多く、緑黄色野菜の代表種。元来、冷涼な気候を好みますが、温度適応性の幅はかなり広く、とくに根部は気温の影響を受けにくいので、肩まで土をかけておけば越冬も容易です。種は軽く、発芽がそろいにくいので、まき溝をていねいにつくり、薄く土をかけ、まいた後に軽く押さえます。とくに夏まきでは、降雨の後か、乾いていれば溝全体に水やりしてからまきます。間引きが遅れて株間が込み合うと、根の肥大が遅れ、形が悪くなるので注意しましょう。